



47 日本キリスト教団天満教会

1879(明治12)年創立のプロテスタントの教会。日本で初めての按手礼(あんしゅれい)を受け牧師になった澤山保羅(ぼうろ)が初代牧師を務めた。1929(昭和4)年建造の現在の建物は建築家・中村鎮が考案した頑丈な中村式鉄筋コンクリート構造(通称:鎮ブロック)で、国の登録有形文化財。2021年冬にパイプオルガンが新設予定。クラシックコンサートなどの会場としても貸し出しされている。

▶天神西町 4-15 日曜礼拝 10:30 ~ 11:45

48 フジハラビル

1923(大正12)年生まれのリトロビル。父のビルを受け継いだ法律家のオーナーが、自ら10年掛かりでリノベーションを手掛け、アートギャラリーとして美術、音楽、演劇など芸術を発信。地下1階~4階の細部にまで奇想天外なアイデアが詰まっている。2009年のNHK連続テレビ小説「ウェルかめ」のロケ地にも。

▶天神橋 1-10-4

49 天満青物市場跡・淀川三十石船舟唄碑

昭和初期まであった天満青物市場の跡。大川(旧淀川)から船で畿内のあらゆる食材が運び込まれ、「天下の台所」と呼ばれた江戸時代の大阪を支えていた。すぐそばに京都・伏見~大坂間を往来していた大型船の船頭たちが沿岸の情景を歌った舟唄を刻んだ碑がある。

▶天満3 南天満公園内

50 菅原町の土蔵

伝統的な土蔵が残る菅原町。江戸時代から乾物問屋が集まり、最盛期の正期には200軒を超えていた。昆布、干し椎茸、凍豆腐、かんぴょう、寒天などが、天満青物市場の軒先で野菜や果物と一緒に並べられていたという。

▶菅原町 6-1



今も現役の乾物商。大正時代には界隈に200軒の商店を数えた

43 堀川戎神社

商売繁盛の神様をまつり、大坂の町人たちに「堀川のえべっさん」と愛されてきた。毎年1月9~11日の「十日戎」には堺隈以外からも10万人以上が訪れる。社名は1968(昭和43)年まで近くを流れていた天満堀川に由来。境内の地車(だんじり)稲荷(榎木神社)は扇町公園付近にあったが明治期に移転された。稲荷神社では珍しく、こちらの神様の使いは「きつね」でなく「たぬき」。

▶西天満 5-4-17

参拝自由(社務所 6:00 ~ 20:00)



東側を阪神高速の高架が走る。かつては川沿いの社であった

44 川端康成生誕之地碑

日本初のノーベル文学賞作家・川端康成はなんと北区出身。開業医の息子として大阪天満宮のすぐそばで生まれたが、幼くして両親と死別してしまう。多感な時期は父方の祖母と茨木市で暮らし、中学生の頃からすでに作家を志していた。

▶天神橋 1-16-12

45 西山宗因向栄庵跡

若き日の松尾芭蕉に影響を与えた西山宗因。連歌師・俳人として活躍。ユーモアあふれる軽快な句調で、「談林派」の祖として江戸前期に人気を博した。天満宮そばに私塾「向栄庵」を結び、井原西鶴ら門下生を輩出。

▶天神橋 2-1-8 大阪天満宮表大門前

46 大阪ガラス業発祥之地碑

江戸後期、天満は日本一のガラス製造地だった。きっかけは長崎のガラス職人・播磨屋清兵衛が、天満宮そばでガラス製造を始めたことから。第二次世界大戦後、工場の移転により衰退したが、2000年に天満のガラス職人が薩摩切子の技を継承した「天満切子」を販売。新たな大阪の名産として注目されている。

▶天神橋 2-1-8 大阪天満宮正門西側



石碑の左上にガラス素材の球体があしらわれている



39 天神橋筋商店街

日本一長い商店街。約2.6kmの直線道に約600店舗が並び、昼夜問わず多くの人で賑わっている。大阪天満宮の門前町として1~2丁目が発展し、江戸時代創業の老舗が多い3丁目、路地裏に飲食店が連なる4~6丁目などエリアによって趣が変わるのも面白い。

▶天神橋 1~7

40 大阪くらしの今昔館

日本初の「住まいの歴史と文化」をテーマにした専門ミュージアム。古文書や絵図に基づき、天保初年(1830年代前半)の大坂の町並みを実物大で復元したフロアは必見。また近代のフロアでは明治・大正・昭和の住まいと暮らしをジオラマ模型や映像などで紹介し、昔なつかしい情景を楽しめる。現代につながる大阪の歴史や文化に触れてみては。

▶天神橋 6-4-20 住まい情報センタービル 8F ☎06-6242-1170

10:00~17:00(最終入館16:30) 火曜・年末年始休 入館料(常設展): 一般 600円、高大生 300円

41 ぶらうてんま(天満卸売市場)

ビルの中にある市場。大川沿いにあった天満青物市場にルーツを持ち、野菜や果物、魚肉、調味料などが誰でも自由に安く買える。気さくなお店の人との会話も楽しく、買いすぎしてしまうこともしばしば。

▶池田町 3

42 史跡 夫婦橋

天満堀川に架けられていた橋。江戸末期に天満堀川が延伸される前は女夫池に架けられ、近くで暮らしていた生き別れの若夫婦を偲んで名付けられたと伝わる。地元商店街によって2000年に3丁目と4丁目の間に橋柱灯や欄干の一部が復元された。

▶天神橋 4-7-19

NISHITEMMA / KANBOKU / KANNAN / HORIKAWA 西天満・菅北・菅南・堀川

大阪天満宮の門前町として栄えてきた天満界隈。人々の暮らしに根付く寺社、市場や商店などが集まり、活気あふれる大阪商人の息づかいを歩いているだけで感じられる。

いにしえから賑わう天満宮参道

AREA MAP

